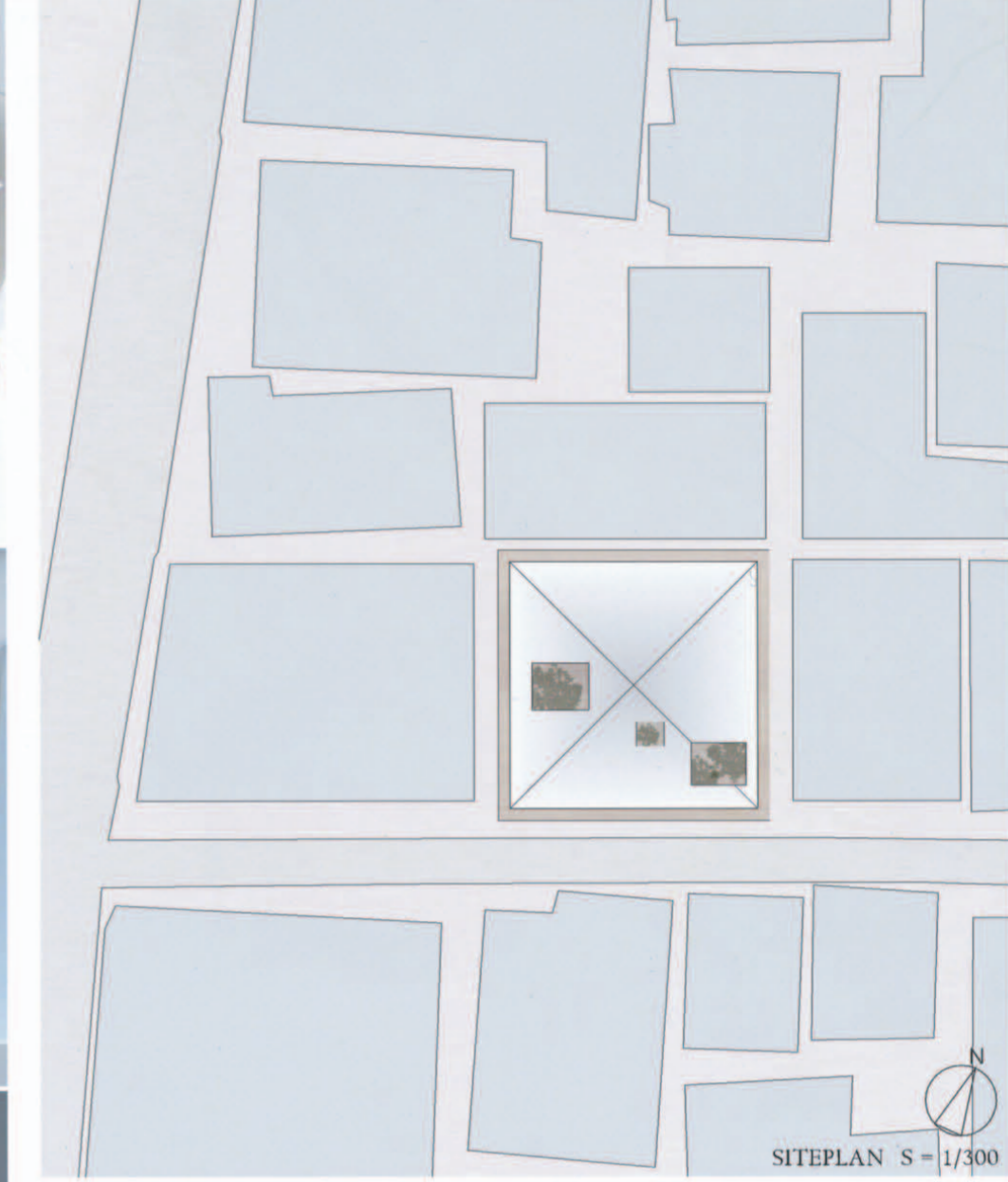
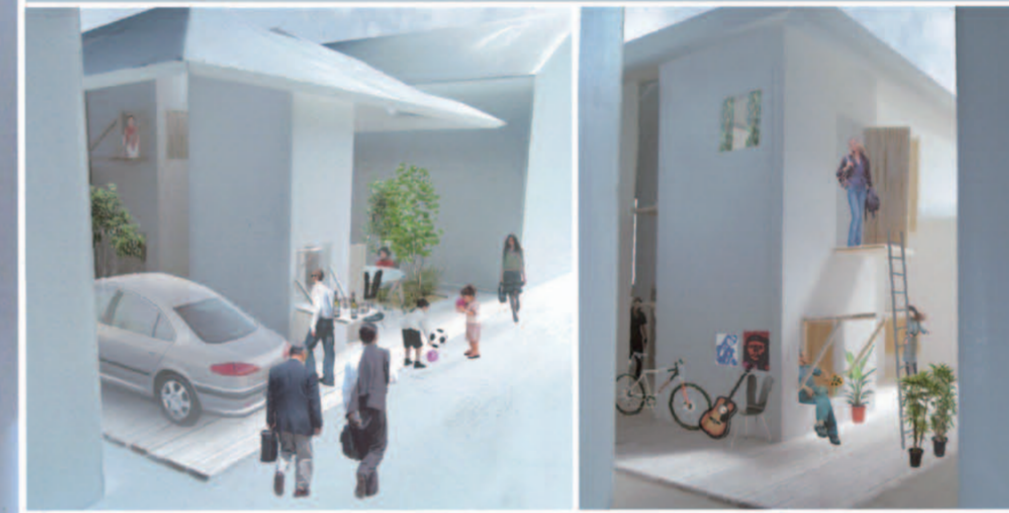




- 大きな屋根の小さな家 -



SITEPLAN S=1/300



GL PLAN S=1/100

庭...それは住人の生活を表出させ、住人そのものを映し出す鏡でありコミュニケーションの場であった。しかし、都市の住宅地ではもはや庭を持つ家は少なく生活の諸機能は内部に丁寧に内包され、生活の見えない住居はコミュニケーションの媒体を失った。大きな屋根の下にすかすかな小さな内部を持つこの住宅は、生活の一部を大きく外部に解放しながら存在する。外部にはリビングの様な設えのテーブルや本棚や植栽...消去していた生活の風景は溢れ出し街へと広がってゆく。そこは住民達の集う場所となる。

- 敷地 -



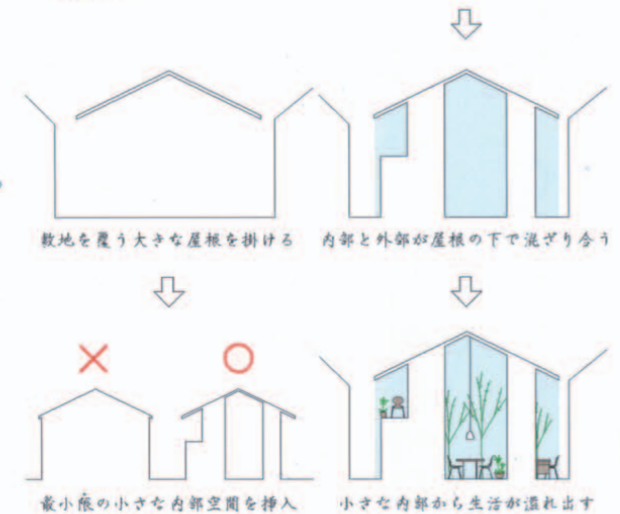
敷地は高層化する都市の住宅地である。都市での暮らしにおいて生活の風景は室内のみで完結し、近隣関係は遠慮する。

- 庭 -



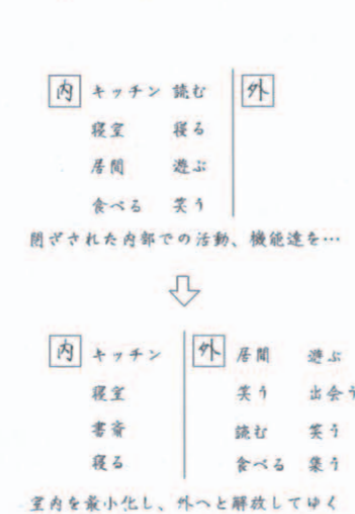
この様な庭を介した風景を都市に取り戻したい。

- 構成 -



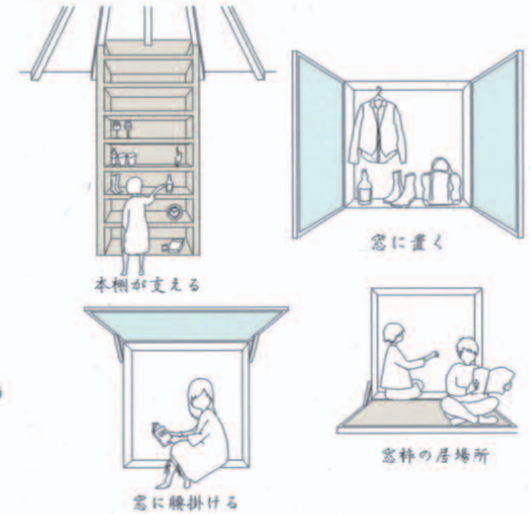
敷地を覆う大きな屋根を掛ける。内部と外部の屋根の下で混ざり合う。最小限の小さな内部空間を挿入。小さな内部から生活が溢れ出す。

- 内と外 -



内 キッチン 読む 寝る 居る 遊ぶ 食べる 笑う
外 居る 遊ぶ 食べる 笑う
内 キッチン 寝る 遊ぶ 食べる 笑う
外 居る 遊ぶ 食べる 笑う

- 家具と建築 -



家具と建築の境界が曖昧になり生活は外へ広がる。窓に置く。本棚が変える。窓に懸掛する。窓枠の居場所。



小さな内から溢れ出した生活は外へ外へと無限に広がる。まるで街全体が1つの大きな家であるかの様に...



SECTION a-a' S=1/100